

岐阜のイチゴ、全国区に

J A全農岐阜
新規就農者 知事に研修成果報告

J A全農岐阜のイチゴ就農研修所(岐阜市)の研修期間を今月末で

終え、6月から新規就農する第7期生3人が、県庁を訪れ、古田肇知事に研修成果を報告した。

訪れたのは、伊藤義隆さん(44)＝大垣市＝、高橋美穂子さん(43)＝岐阜市＝、江崎聖仁さん(24)＝同＝。3人は、昨年4月から約1年間、研修所でイチゴ栽培の技術を学ん

できた。6月からは大垣、岐阜市で新規就農する予定。

介護の仕事から転身した伊藤さんは「障害者の人もやれる部分があると感じた。障害者と一緒に仕事ができ

ばと報告。高橋さんは「やっとスタートライン。これから頑張りたい」、江崎さんは「岐阜のイチゴを全国に広めたい」と意欲を語った。3人が育てたイチゴを試食した古田知事は

「味が濃くておいしい。岐阜のブランドを高めたい」と激励した。

J A全農岐阜は来年4月から研修予定の第

9期生を募集する。問い合わせはJ A全農岐阜営農対策課、電話058(276)5301。(河合修)



研修所で育てたイチゴを古田肇知事(左)に贈呈する研修生＝県庁